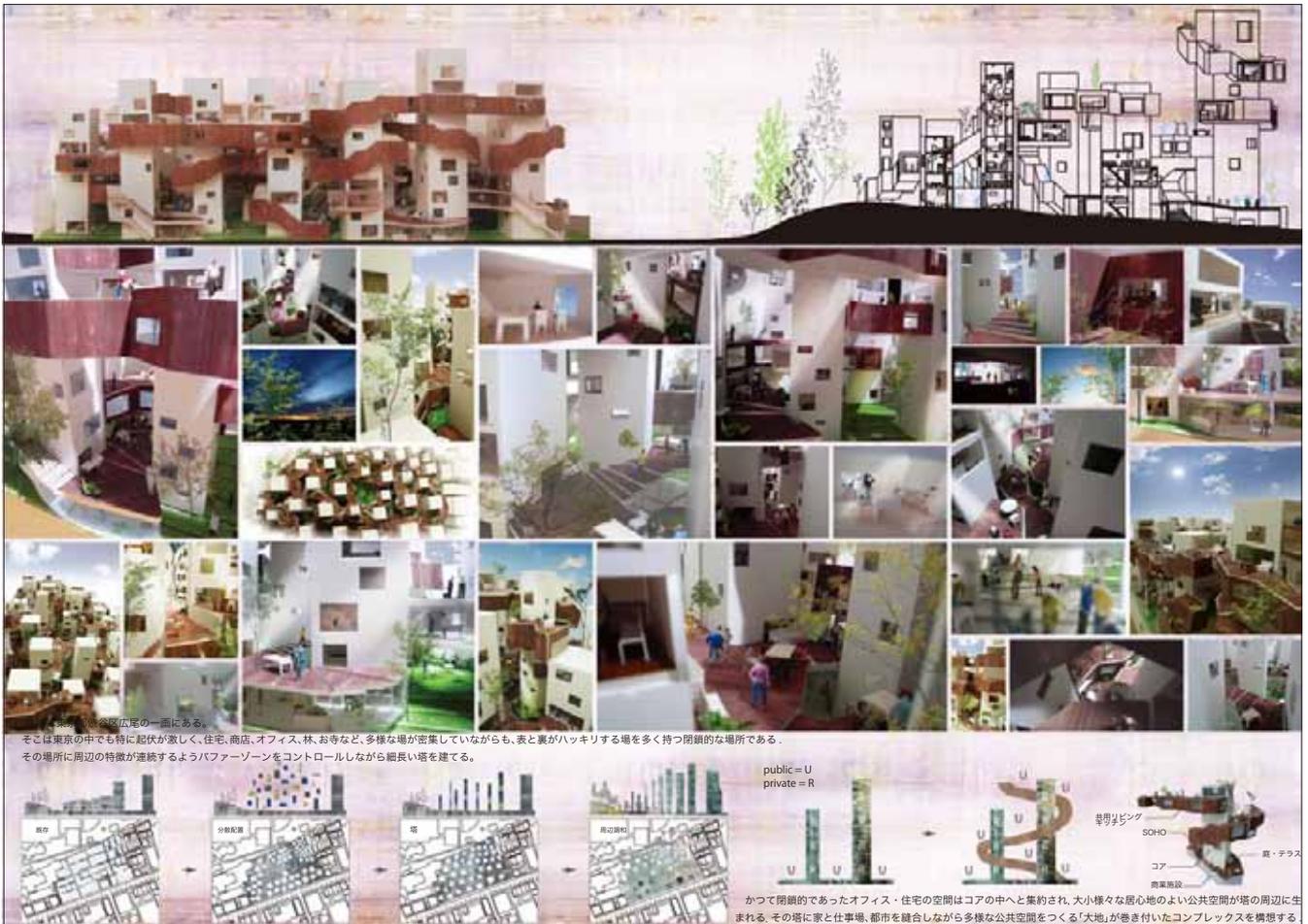


Living on grounds.
～都市を縫合する大地に住む～

曾我部研究室 木下 和之

研究概要：現在、都市の中には多様な場が混在しているながらも積層され、閉鎖的になっている場が多くできている。そのような都市の中で、建物間のバッファゾーンを地形がコントロールすることにより、集まって暮らす人と人、都市と建物の新たな関係性や風景をつくること出来ると考えた。

研究目的：人が高密度に住む都市の中で、住環境やオフィスの新たな関係性や現れかたを提案することを目的としている。



苦労した点や感想など：

抽象的な考えから、なかなかぬけ出せない時期が長く苦労しました。

正直なところ、最後まで悩み続けて出来上がった作品だと思います。自分が何をやりたいのか、社会に対して、建築に対して何を考えて今まで来たのかが、この卒業設計で見えてくるのだと感じました。この卒業設計で考えさせられたことは、今後の自分に多くの影響を与えると思います。今思えば、苦しいようでとても幸せな時間でした。 4/8